

気候変動に関するアンケート調査結果（最終）

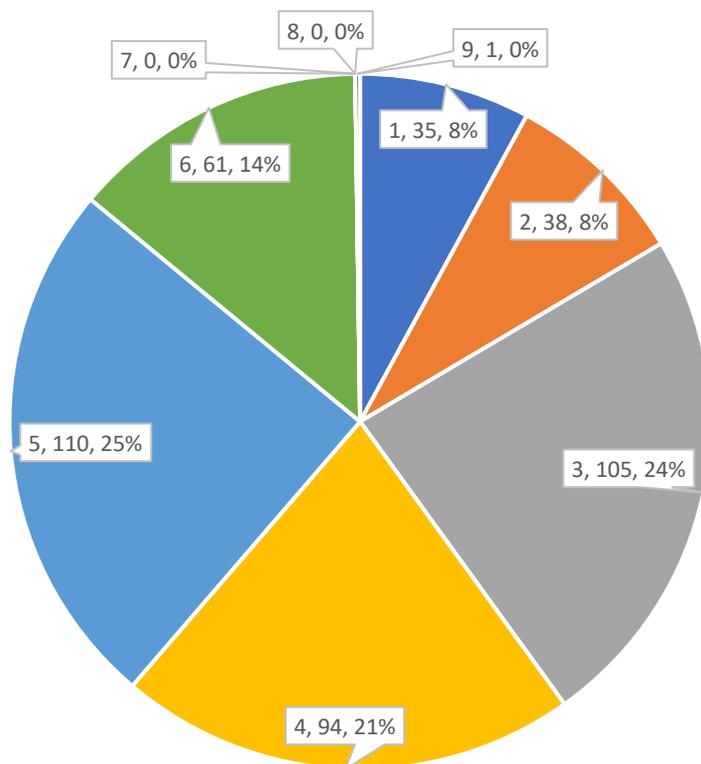
調査期間：令和2年11月20日(金)～12月15日(火)

調査方法：FAXまたはGoogleフォームによるオンライン回答

有効回答数：134事業所

【1】気候変動は、以下のような事象を引き起こすといわれています。
貴社にとって、どのような事象が影響を与えると考えますか。
(複数回答可)。

1. 農作物（原材料）の品質や収量が低下（原材料のコスト増加）
2. 渇水の増加（断水による操業停止や営業停止など）
3. 豪雨・台風（洪水）、高潮・高波など自然災害による工場や店舗に対する被害
4. 熱中症・感染症の増加（従業員の健康リスクの増加、対策に伴うコストの増加）
5. 自然災害による停電、交通マヒなどインフラ・ライフラインへの被害
6. 生活環境の快適さが損なわれること
7. 特に問題はない
8. 分からない
9. その他（自由記載）



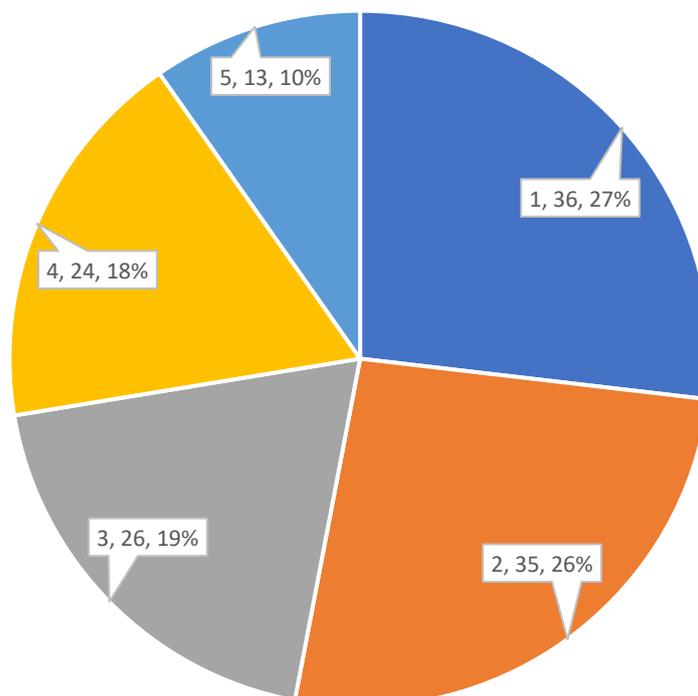
【その他自由記載内容】

稀少植物の減少と開花時期の変動、季節感が無くなり自然をテーマにした旅行商品の造成が難しくなる。

顧客の事業継続への障害となる。

【2】気候変動のような環境問題をはじめ、豊かさを追求しながら地球環境を守るため、「SDGs (=持続可能な開発目標)」という国際目標が定められ、企業にも本業そのものにその考え方を組み込むことが求められています。
SDGsについて、貴社の状況をお伺いします。

1. SDGsについて知っていて、すでに実践している。
→担当部署を設けている場合は、「部署名」を回答票に記入ください。
2. SDGsについて知っている。(今後取り組む予定がある)
3. SDGsについて知っている。(特に取り組む予定はない)
4. SDGsという言葉は聞いたことがある。(内容は詳しく知らない)
5. SDGsの存在を知らなかった



【担当部署名】

総務部 (複数)

主に総務課 (EMS 事務局)。実践は全部門

統括本部内 (経営企画部)

ESG 推進室、広報部

SDGs 推進 PT

物販グループ

業務部

専用の担当部署は設けていない

担当部署はないが、スマートライフ部、総務部が担当。

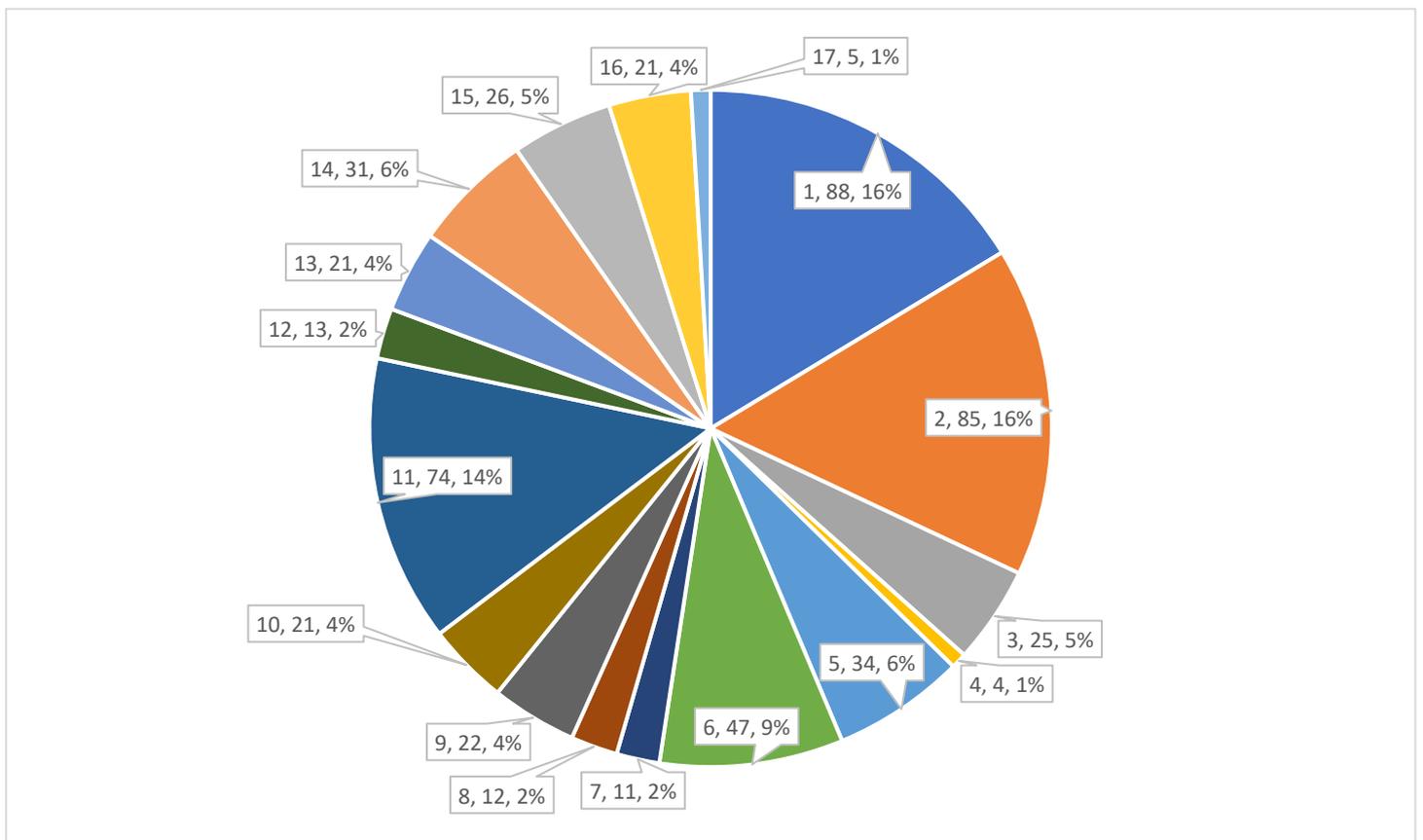
部署は特になし、ダイビング部門

設置まで至らず

全社

【3-1】次の取り組みが気候変動対策として効果的と言われています。すでに企業活動の中で実施、企業から従業員に推進している取り組みがありましたら選んでください（複数回答可）。

1. LEDへの切替
2. 節電
3. 太陽光発電の導入
4. 燃料電池の導入
5. 省エネ設備への切替（空調等）
6. ペーパーレス
7. 緑化取り組み
8. カーシェアリング
9. テレワーク（在宅勤務）
10. 公共交通機関（自転車、徒歩）利用の推奨
11. 冷暖房の温度設定の見直し（ウォームビズ、クールビズ）
12. CO₂を出さずに作られた商品・部品を仕入（利用）する
13. 再生可能エネルギーを重視した電力会社に変える
14. （従業員に対して）エコバッグ利用の推進（プラスチック削減）
15. （従業員に対して）マイボトルの推進（プラスチック削減）
16. （従業員に対して）ペットボトル使用量削減の推進（プラスチック削減）
17. その他

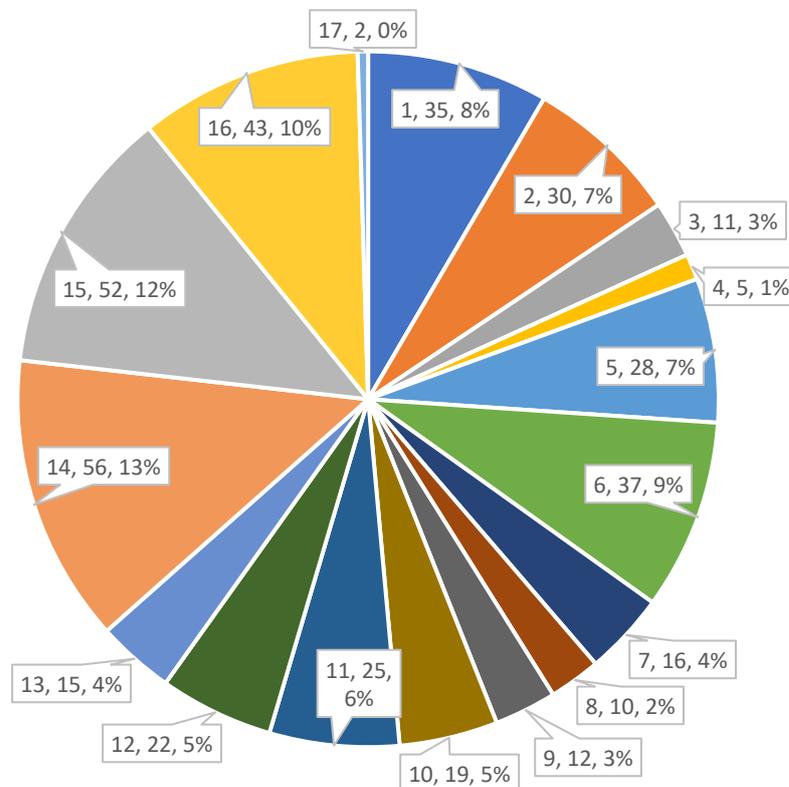


【その他】

- 夏期、井戸水を循環して施設を冷やす。
- 海中のゴミ拾い
- 個々の問題
- COOL CHOICE プログラムにて取り組みを推進
- オフグリッド他の検討（将来）
- ハイブリッド車への代替
- 肉食中心の食生活から大豆食品への移行の促し

【3-2】【3-1】と同様に、これならこれから企業活動の中で実施、企業から従業員に推進することができるという取り組みがありましたら選んでください（複数回答可）。

1. LEDへの切替
2. 節電
3. 太陽光発電の導入
4. 燃料電池の導入
5. 省エネ設備への切替（空調等）
6. ペーパーレス
7. 緑化取り組み
8. カーシェアリング
9. テレワーク（在宅勤務）
10. 公共交通機関（自転車、徒歩）利用の推奨
11. 冷暖房の温度設定の見直し（ウォームビズ、クールビズ）
12. CO₂を出さずに作られた商品・部品を仕入（利用）する
13. 再生可能エネルギーを重視した電力会社に変える
14. （従業員に対して）エコバッグ利用の推進（プラスチック削減）
15. （従業員に対して）マイボトルの推進（プラスチック削減）
16. （従業員に対して）ペットボトル使用量削減の推進（プラスチック削減）
17. その他



【その他】

特になし

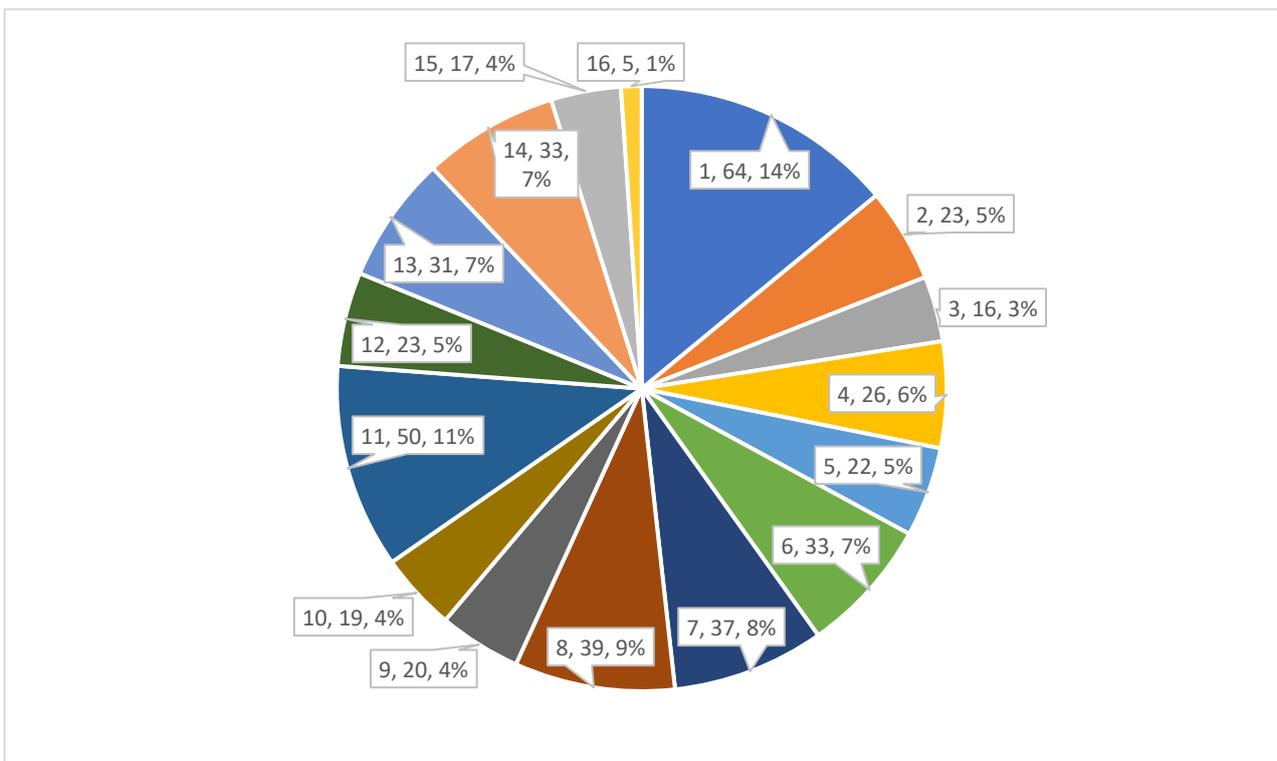
省エネ全般

COOL CHOICE プログラム参画の継続

大豆食品など環境に負荷のかからない食品の販売、提供を新事業として考える

【4】気候変動について意識を高めるために、どんな方法が有効だと思いますか。また、気候変動に関する知識や情報を、どのような媒体であれば受け取りたいと思いますか（複数回答可）。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 商工会議所の会報（折込チラシ含む） | 2. 商工会議所からのDM |
| 3. 商工会議所からのFAX | 4. ホームページ（開設者問わず） |
| 5. メルマガ（発信者問わず） | 6. 新聞（折込チラシ含む） |
| 7. SNS（Facebook、Twitterなど） | 8. タウン誌 |
| 9. フォーラム | 10. イベント |
| 11. 講演会・勉強会（従業員教育など） | 12. オンラインセミナー |
| 13. YouTube等の動画 | 14. 現地（事例）見学 |
| 15. 優秀な取り組みをした事業所への顕彰制度 | 16. その他 |



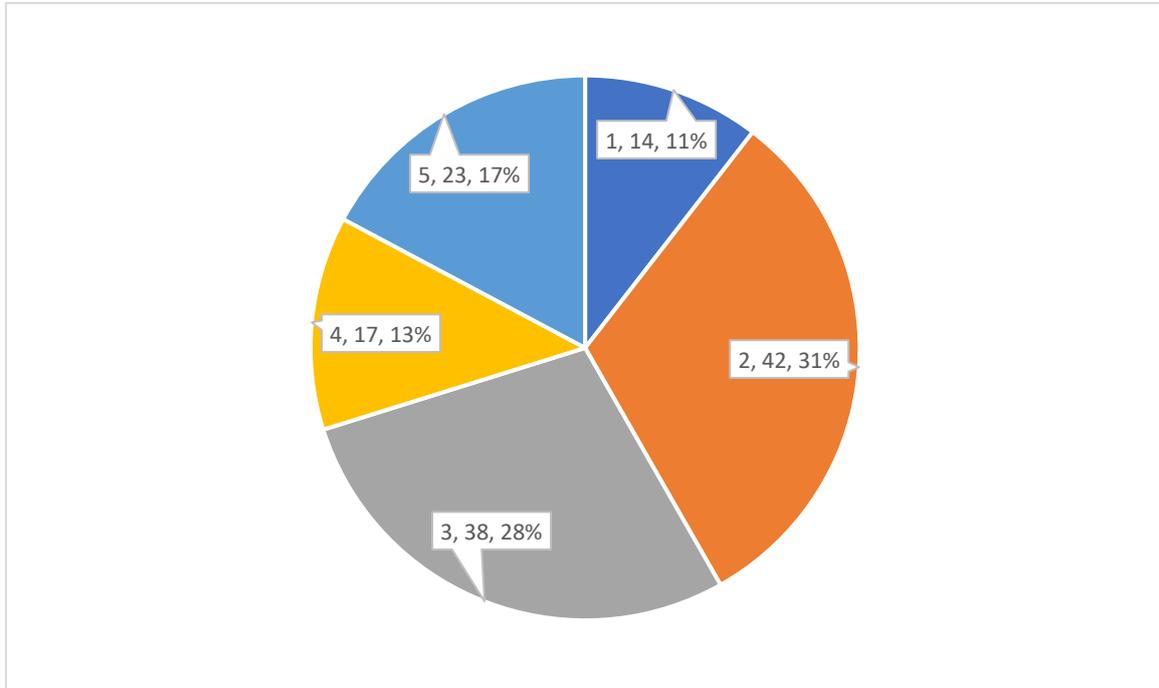
【その他】

- ・ やたらエコやら再生可能エネルギーもてはやされているが違う側面で見れば害もでていいるためそちらにも焦点をあてるべき。太陽光もメガソーラーの問題点やパネル寿命後の破棄問題、EV もリチウムイオンの環境不可、風力も鳥への影響など、火力や原子力が悪となっているが、そうではないという側面をしっかりと告知してほしい。綺麗事だけでは今の文化レベルは維持できない。
- ・ 意識を高めるには企業ポリシーにかかっていると感じる。
- ・ 大幅な予算措置（国・自治体）
- ・ 喜んで働く無償ボランティアの普及推進
- ・ テレビ等による告知
- ・ 人々のどんな行動が環境に負荷をあたえているかわかりやすく伝える方法を考え、継続して伝える。
- ・ 学校の教育現場で企業の取組を見せる機会を作る。

【5】御社の会社規模と業種を教えてください。

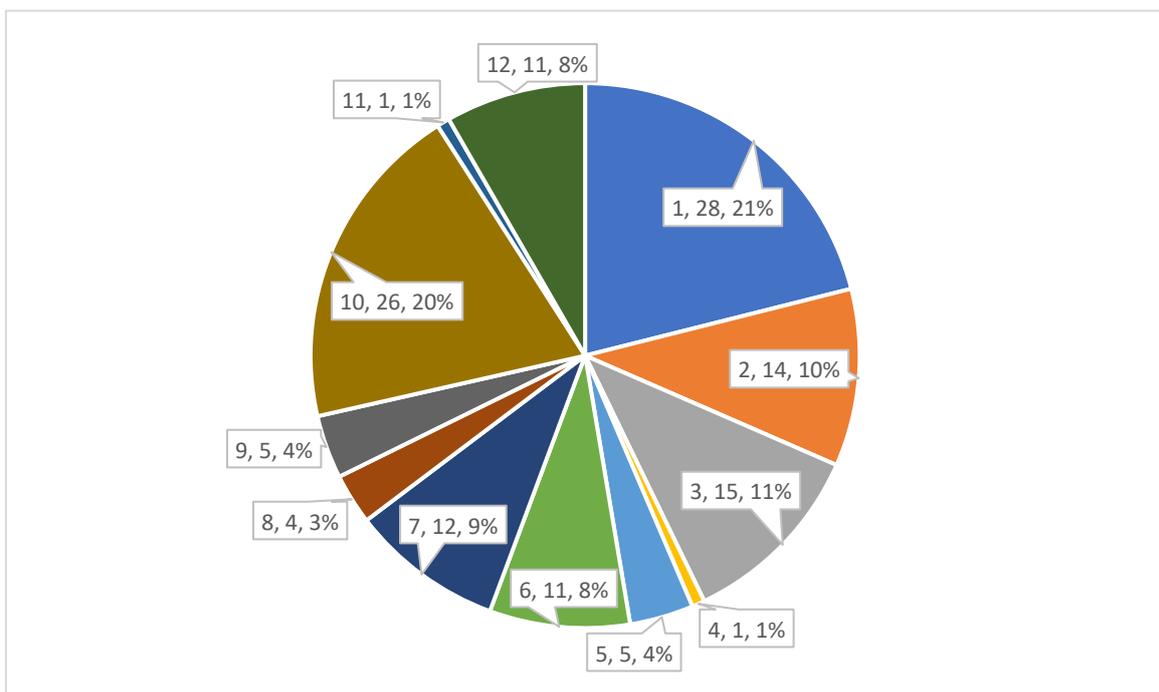
(1) 会社規模（従業員数／週20時間未満のパート・アルバイトは除く）

- 1. 従業員なし 2. 1～4人 3. 5～29人
- 4. 30～99人 5. 100人以上



(2) 業種（主だったものを1つ選択）

- 1. 製造業 2. 卸売業 3. 小売業 4. 土産品小売業
- 5. 飲食業 6. ホテル・旅館業 7. 建設業 8. 不動産業
- 9. 交通運輸業 10. サービス業 11. 金融業 12. その他



(3) 回答者の役職（近いものから1つ選択）

- 1. 経営者
- 2. 部長、課長（役職者）
- 3. 係長、主任、マネージャー
- 4. 一般職員
- 5. その他

